

2024年12月24日

「阿蘇くまもと空港周辺地域RE100産業エリアの創造」等 に関する再エネ電力供給に係る連携協定について

株式会社熊本銀行（取締役頭取 坂本 俊宏）は、熊本県が環境省より選定された「脱炭素先行地域※」の取組みに、共同提案者として参画しております。

この度、地域脱炭素を推進する「地域エネルギー会社」の設立運営等に向けた連携協定を締結いたしました。

記

阿蘇くまもと空港周辺地域RE100産業エリアの創造

連携協定締結先：熊本県、益城町、西鉄自然電力合同会社、株式会社肥後銀行、西部ガス株式会社、西部ガス熊本株式会社

■ 取組の概要

阿蘇くまもとと空港及び隣接する産業集積拠点を中心としたエリアにおいて、太陽光発電等の再エネ電源を新たに整備するとともに、地域エネルギー会社を設立し、再エネ電力を集約しエリア内を中心に再エネ電力を供給。「熊本では再エネ100%を目指した企業活動が可能」という次の時代を見据えた環境づくりを目指します。

■ 地域エネルギー会社について

上記取組みの中で、地域内外の再エネを集約、使用する企業を確保して電気を供給する役割を担うことで、エネルギー地産地消による再エネが生み出す利益の地域内循環を目指します。

※（参考）脱炭素先行地域について

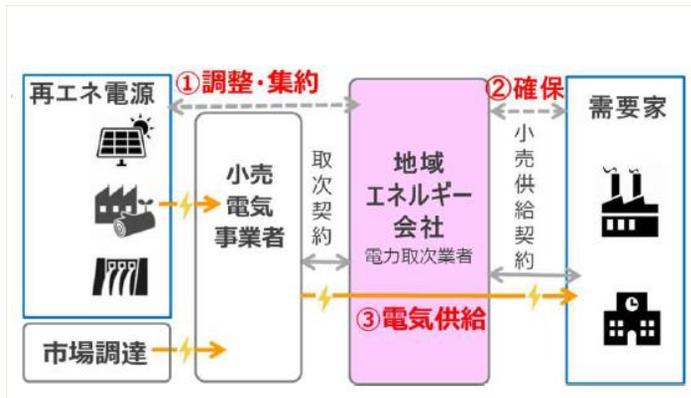
脱炭素先行地域とは、2050年カーボンニュートラルに向けて、民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを実現し、運輸部門や熱利用等も含めてそのほかの温室効果ガス排出削減についても、日本全体の2030年度目標と整合する削減を地域特性に応じて実現する地域で、「実行の脱炭素ドミノ」のモデルとなる地域であり、環境省が100程度選定する予定とされています。

■ 協定式の様子



（左から2番目が坂本頭取）

■ スキーム図



以上

《 本件に関するお問合せ先 》
 (株)熊本銀行 ソリューション営業部 担当：西田 金森
 TEL 096 - 385 - 1280